



東北大学

平成 20 年 11 月 28 日

報道機関 各位

東 北 大 学

日仏ジョイント・ラボラトリー協定調印式他の開催について

東北大学ではフランスを代表する理工系のグランゼコールであり、大学間学術交流協定締結機関である国立中央理工科大学院リヨン校 (Ecole Centrale de Lyon、ECL) 及び国立応用科学院リヨン校 (INSA de Lyon) と「第 1 回国際産学交流会」(2005 年 1 月・リヨン市)、「第 2 回国際産学交流会」(2005 年 11 月、リヨン市)、「第 3 回国際産学交流会」(2006 年 11 月、東北大学) を開催し、共同研究、産学連携などの連携に加え、2005 年度には 21 世紀のグローバル化社会をリードする次世代の人材を育成するために、大学院修士レベルの共同教育 (ダブルディグリー) プログラムなどの教育・学生交流を開始するなど長年に亘り、密接な連携・交流を行ってまいりました。

これら一連の活動は、Ecole Centrale de Lyon150 周年、東北大学 100 周年、INSA de Lyon 50 周年を迎えた昨年 2 月にリヨンで、また、12 月には東京と仙台にて開催された合同フォーラムにおいて、3 機関で今後の発展を誓う共同宣言及び日仏ジョイント・ラボラトリーの設置に関する覚書の調印を行いました。

これを受けて、上記 3 機関 (東北大学、INSA de Lyon、ECL) による日仏ジョイント・ラボラトリーを更に整備充実し、次の分野において研究を更に推進させていくこととして、フランス国立科学研究センター (CNRS) のLIA (Associated International Laboratory: 国際連携研究所) の認定を得るため 3 機関で申請を行い、この度、採択されました。

- (1) Biosciences & Engineering (Biosciences)
- (2) Durability, Reliability in Energy and Transportation
- (3) Nano & Micro Scale Materials & Devices
- (4) Flow Dynamics, heat transfers and microfluidics
- (5) Tribology

そこで 12 月 1 日 (月)・2 日 (火) でフランス側 (INSA de Lyon、ECL) より約 40 名の研究者を迎え 3 機関による日仏ジョイントラボラトリー・ワークショップの開催に併せて、以下の日程で、CNRS、EC リヨン校、INSA-Lyon の代表者をお招きし、日仏ジョイント・ラボラトリー協定調印式を挙行いたしますので、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：平成 20 年 12 月 2 日 (火) 11:30~12:00

会場：東北大学片平さくらホール 2 階会議室

調印式出席者 (予定) :

- ・東北大学 : 井上明久総長
- ・CNRS : Catherine Bréchnignac 理事長
- ・ECL : Patrick Bourgin 学長
- ・INSA de Lyon: Alain Storck 学長

※日仏ジョイント・ラボラトリーを基盤とした期待される効果

(1) 研究・教育等の公的研究資金申請の促進

日本学術振興会（JSPS）、NEDO、JST などの各種プログラムへの申請

(2) 産学連携

フランス側（ローヌアルプ地方、リヨン市）と日本側の企業関係者、仙台市、宮城県、東北
経済産業局の自治体関係者の連携

(3) JETRO / NEDO 在仏事務所との連携

この件に関するお問い合わせ先

東北大学国際交流部

国際交流課長 門脇 英雄 Tel. 022-217-4842